

第 15 回 コムズフェスティバル 市民企画分科会 実施報告書

グループ名	コムズフェスティバル合同分科会実行委員会		
開催日時	2014年1月26日（日）14:00～16:00		
テーマ	ぶっちゃけトーク 2014 世の中、私たちが変えていきます!?		
講師等 (パネラー)	男女共同さんかくの会 ウェルエイジングクラブまつやま NPO 法人ワークライフ・コラボ NPO 松山冒険遊び場 レインボープライド愛媛 NPO えひめ心のつばさ ギャンブル依存を考える会 NPO 法人こころ塾		
参加人数	合計	50名	(女性 30名, 男性 20名)
実行委員数	合計	8名	(女性 2名, 男性 6名)

〈開催趣旨〉

今年もコムズで活動する団体有志が集まり 1 つの合同分科会を開催しました。団体の代表有志をパネラーに、参加の市民も巻き込んだ議論で男女共同参画社会への市民一人ひとり出来る関わり方を考える分科会でコムズフェスティバルを盛り上げ、団体同士が交流しながらひとつの分科会、シンポジウムをやることで交流を広げました。

〈内容〉

団体の代表有志 8 名がパネラーになり、活動への想いや男女共同参画社会への提言を自由にぶっちゃけました。パネラーは「どのように社会を変えたいと思い、どのような行動を起こしているか」をその葛藤と共に熱く語り、来場の参加者も巻き込んで考えました。失敗を恐れて行動を起こしにくい市民感覚などにも触れ、今日ここに参加しているそれぞれ個人が失敗や自分のダメなところをあえて周辺に伝えていけば変わるのでは、との気付きがありました。

〈参加者の声〉

- ・ シンポジストの方たちのトークは、さまざまな視点から社会を変えていこうとする思いが語られ、興味深いものでした。
- ・ 自分も社会を変えたい！と思いました。長期欠席の子ども達への正しい理解の輪を広げていくために、少しでも力になれたらと思っています。
- ・ 今日のシンポジストの方の発言のように、来年は行政の方にこのトークを聴いていただくようにしてほしいです。
- ・ 参加して良かったと思いますが、関係者以外の参加が少なかった？一般の人に多く参加してもらう方法が何かないのでしょうか。
- ・ 様々なNPOの本音が聞けて大変良かった。
- ・ 法的に社会参画を義務づけて、会社で社会参画の休暇をとれるようにすればもっと社会にかかわれるようになるのでは。
- ・ 色々なジャンルのグループの活動内容を聞いたことはよかった。
- ・ どんなことも自分が渦中に入ることはできませんから、自分のまわりにおこる範囲で解決していく力を康なうことが大切。
- ・ 私のできる事、勉強、活動、経験で社会を変えたいです。
- ・ 社会的弱者、独居の高齢者、障がい者の支援をしたい。松山市市民救急サポーターで、市民に救急・救命の普及指導をしたり、聴覚障がい者を手話通訳、要約筆記者でサポートしたい。
- ・ 昔、江戸時代、長屋という地域の人々のネットワーク、支え合いがありました。困ったときはお互い様で助け合っていて、ボランティアの意識がなく、ダイバーシティそのものでした。現社会こそ、地域の住民との長屋（ネットワーク）が必要。
- ・ 政治家全員が、国民の立場、生活を経験・体験してほしい。
- ・ 人生に悩んでいる最中です。色々元気になれるエキスをいただきました。ありがとうございました。
- ・ それぞれの方の熱い思いが伝わってきました。できれば社会を変えたいと思っているひとりです。男女共同参画意識の必要性を伝えていきたいと思う。
- ・ 社会にかかわっていけるようにするには、自分が強く関心のあることを、同じように関心を持って続けているグループや団体を探し、まず、そこに加わってみる。
- ・ 各団体の活動内容がよくわかりました。未来を受け継ぐ子ども達が大きく羽ばたけるような環境・社会になれば・・・と思います。
- ・ 男女共同参画なのだが、活動参加しているのは女性が殆どだ。理想は「男女が協(共)同参画できるには」と思う。
- ・ いろいろな問題に取り組む熱い人たちの話が聞けて・・・すごいと思いました。まず、自分が変わらないと！そのお手伝いでがんばります！
- ・ もっと参加人数が多いといいですね～伝える力がほしいです。例えば、新聞やマスコミで。
- ・ せっかく違ったNPOが集まって、白熱トークがありましたので、このテーマで次回も手続きをして下さい。
- ・ 刺激的であつたり、貴重な意見をたくさん聞けました。行政よりも先んじてNPOの活動を、そして、連携を強めてできれば「形」にして頂きたいと思います。それぞれが情熱だけで突っ走って行っても広く裾野に広がっていくのは難しいと思います。

- 今、子ども達の環境をとっても心配しています。困ってばかりもいられません。自分にできることを何かしたい。今日の話はヒントのひとつになると思います。
- 意見の中で出た、失敗してもいい、(多くの)人と違っててもいい、助けてと言ってもいいと言う事を子供たちに伝えたい。その思いを育てながら大人になって欲しい・・・その「形」がわかりません。
- 「たて割り」という言葉ばかりが耳につきますが、個人個人がいろんな形でかかわっているどこからでも問題がすい上げられていく社会になっていけばと思います。その為今日のよ活動、それぞれのNPOの活動、さらにそれらが繋がっていくことが大切です。
- 大人・・・社会が休める場を作りたい。・・・か作って欲しい。
- たくさんの人達が良い暮らしをできるようにがんばってくれていうんだなあ。私も少しでもお手伝いできたらなあと思いました。
- アルコール依存症とウツと摂食障害をもっている私にしかできない事、施設を作ることが夢のひとつです。
- パネルディスカッションが新鮮で良かった。他の場合は良いところだけの発表になるが、本当の話がグー！
- いろいろな立場の団体でしたが、共通するものがありますね。こういう会で少しずつ社会を変えることができますね。
- 社会というより、まず、自分の周りを変えていきたいと思います。例えば、今日の会のことを家族に話します。
- 向かって右半分の方々は、何らかで知り合いだったりお世話になっている方々でした。依存症で・・・「ギャンブル」だけですか?! AC (アダルトチルドレン) による無意識な「発達障がい」、「y e s マン!」「家来気質」で金銭的にも生活上にも家族(親族)中が振りまわされている現実も分かって下さい!!!
- 「大人の発達障害」について、もっとスポットを当てて欲しい!!! “ネグレクト”という言葉がなかった頃からの生い立ちをしてきた“無意識の障がい”という根深い問題に目を向けて欲しい!!! 加害者である親世代すら気づいていない。
- 世代格差をとっばらって“ぶっちゃけトーク”できる場をもっと増やすべきだ。
- 一見「い〜い人!?!」「優し〜い!?!」「な〜んでも言うことを聞いてくれる人!?!」は、本当に“その人”にとって、そう言われることが「心地いい」ことなんですか? ニヤニヤ・ニコニコしている裏に、自ら「こころ自傷行為」していることにさえ気づいていない・・・。「本当はしんどいんだよ」と言えない、言わせない状態にある人、いっぱいいっぱい自分を追い込んでいる人たちをサポートしていく活動をしてゆきたい。
- こういったたくさんのNPOのトークを聞く機会をもったことが無かったので、様々な視点から、今の社会の疑問を持つべきところについての話を聞いてよかったと思います。
- おそらく自分が参加者の中で最年少だったと思うのですが、もっと若い世代から、こういったことを学べる機会を用意すべきだと思いました。
- パネリストと会場参加者の距離がある。こんなことができる、こんなことをしている、頑張っていることはよくわかるが、元気を押し付けられている感じがする。しんどい。
- 外で遊ばない子もいる。外で遊ぶのがよいのか・・・そうは思わない! 今の子どもは大変です。よく頑張っています。「楽(ラク)」に生きようとするためには、すごく努力しなければ

なりません。パネリストの方々は、ご自分の考えをあなたの価値観だけでひとくくりにしてほしくない。再考してほしい。

- 広く他者の意見にもっと耳を傾けていただきたい。関わりたい人もいれば、関わりたくない人もある。いろいろな人がいる。
- 会場を巻き込む“しかけ”が必要です。今のままでは、パネリスト間での馴れ合いのように感じます。・・・とは言っても、良く頑張っていると思いますよ。

